

中学生の非核平和研修レポート

# 広島を知って

大原 愛美

(新聞中学校2年)



私が広島へ行くきっかけになったのは、父との会話でした。はじめに学校からいただいた案内を見たときは、人ごとだと思

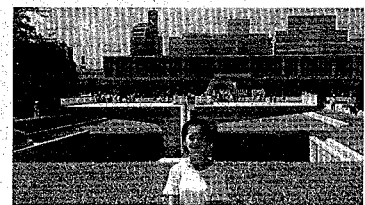


原爆の子の像

っていました。しかしこのことについて家族で話をしたときに、以前長崎に行った経験がある父から、この機会にぜひ行こうと言われ、決心をしました。駅舎を出て見た広島第一印象は、「すごくきれいな街だ」ということでした。そして、本当にここに原爆が落ちたのだろうかと思っていました。

路面電車を降りて初めて見学したのは、原爆ドームでした。テレビや写真などで見たことはありましたが、実際に見た原爆ドームは、それとは違う印象を受けました。当時の形を再現したように見えるほどしっかりと建ち、私に何かを訴えかけていました。そして石碑には「この悲痛な事実を後世に伝え、人類の戒めとするために、これを永久に保存する」と刻まれています。

ついでに、平和公園へ行きました。そこにある「平和の灯火」は、世界各国から送られてくる石油を使い、永久に燃え続けるのだそうです。それから私は平和記念資料館へ行きました。初めに見たのは、千羽鶴から世界の平和を祈るきっかけになった「サダコさん」のことが展示してある部屋でした。そこにはサダコさんが入院する前の様子や、入院してから家族の方や同級生、同じ院室だった人たちの手紙があり、それらを見ながら、私は「サダコさんは、なんて強い人だったんだろう」と思いました。ほかにもいろいろなところを見て回りましたが、その中で一番印象深くに残ったのは、原爆が爆発したのを見た人や、後で駆け付けた人々の絵や文でした。絵に描かれていたものは、



原爆慰霊碑

どれもこれも原爆の悲惨さや苦しみ、悲しみ、絶望を、写真以上に物語っていました。アメリカが原爆を投下した理由の中に、「広島は、当時試作品だった原爆の効果測定しやすかったから」という記述を目にしました。被害者の人たちは、兵器の効果測定しやすい所にしたからという理由だけで殺されたしまったのだろうか。そう思うと、とても腹立たしくなりました。

次は平和公園へ行きました。そこにある「平和の灯火」は、世界各国から送られてくる石油を使い、永久に燃え続けるのだそうです。それから私は平和記念資料館へ行きました。初めに見たのは、千羽鶴から世界の平和を祈るきっかけになった「サダコさん」のことが展示してある部屋でした。そこにはサダコさんが入院する前の様子や、入院してから家族の方や同級生、同じ院室だった人たちの手紙があり、それらを見ながら、私は「サダコさんは、なんて強い人だったんだろう」と思いました。ほかにもいろいろなところを見て回りましたが、その中で一番印象深くに残ったのは、原爆が爆発したのを見た人や、後で駆け付けた人々の絵や文でした。絵に描かれていたものは、

お買物、ご用命は市内で

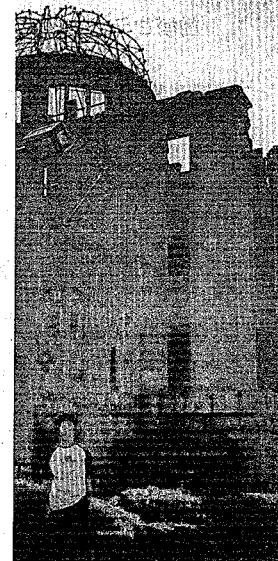
信濃バレー 市民のためのゴルフ体験場  
**「親水レクリエーション広場」**  
 ゴルフ体験場(9ホール)

料金は平日で2,500円(土・日・祝日3,500円)  
 だだ池1コース(18ホール)2回まわり  
 詳しくは、広場管理事務所までお問い合わせください。

新津地城振興株式会社  
 新津市大字島崎1183 □23-8161  
 広島管理事務所  
 新津市大字島崎1183 □23-1222

# 平和の素晴らしさを 未来へ伝えよう

前でも、戦争や核兵器の恐ろしさや悲惨さを、そして平和の大切さを知って、もう一度、非核平和研修を行っています。  
今年も、新聞中学校から2組の中学生の親子が被災地の広島を訪れ、その平和の研修計画でまわってきた。平和について学びました。ここでは、そのレポートを紹介しよう。



原爆ドームの前で

## 広島を訪れて

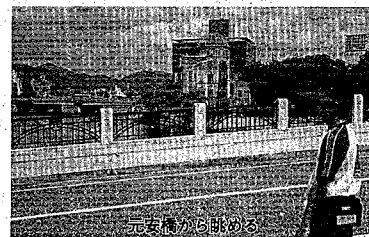
渡辺 達春

(新聞中学校3年)



八月十八日の夜行列車で新津を出発しました。翌朝新幹線に乗り換えて、午前九時前には広島駅に着き、そこからバスに乗

って最初の目的地である平和記念公園に向かいました。初めに目に飛び込んだのは、廃墟と化した建物でした。それは「原爆ドーム」です。被爆のつめ跡が当時のままの姿で残っていて、今では世界文化遺産に登録されているそうです。緑豊かな平和記念公園を歩いて行くと、平和への祈りを込めたいろいろなモニュメントがありました。しばらく進むと、原爆死没者慰霊碑がありました。そこには、「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」と刻まれています。「こんな所に原爆が落とされたのか」と思いながら、今はきれいに整備されている公園を眺めているうちに、僕も思わず手を合せてしまいました。それから平和記念資料館に入りました。たくさん資料が展示されていて、その中に広島街並みの模型がありました。原爆が落ちる前はちゃんとした所だったのに、投下後の模型は廃墟のようになっていました。すごいわく、コンクリートの壁にガラス片が刺さったことや、はがれた爪、熱線による大やけどを負った人たちの写真などがあり、少し気持ち悪くなりました。でもこれが、原爆による本



元安橋から眺める

全部見終わって地下一階へ行きます。そこで有名な「禎子さんの折り鶴」の意味を知りました。禎子さんは二歳で被爆し、十二歳で発病して亡くなったそうです。その入院中に「生きたい、生きたい」と思いながら鶴を折り続けたそう。僕も禎子さんの気持ちを考えながら、そこで鶴を折ってみました。広島を訪れて、原爆の威力、原爆の恐ろしさを感じ知らされました。このようなことは二度と起こさないでほしい。戦争や核兵器を無くしていかなければならない。絶対いけない。なんとしてもいけない。多くの人が死ぬだけだから。

お買物、ご用命は市内で

七五三写真予約承り中  
 幸せを写す  
 フォトスタジオ  
**かわの**  
 新津市古田074-46  
 PHONE 0250-25-2280  
 FAX 0250-25-2663

**パソコン塾ニングル**  
 IT講習フォローアップコース、年俸状作成  
 パソコン入門・文書作成(Word・一太郎)・表計算(Excel)  
 インターネット・Eメール  
 初回のみ電話で予約し、2回目からは来れる日時をその都度予約していただきます。  
 ※訪問塾もやってます。  
 電話:0250-22-7966 場所:新津市山崎町3丁目7番11号